

臨時レポート

日米株価動向と見通し(NYダウ608ドル安を嫌気し日経平均も急落)

米中貿易摩擦が企業業績に与える影響を見定める動きに

- ▶ 米企業業績の悪化懸念等から、10月24日のNYダウは前日比608ドル安。日本株にも波及。
- ▶ 現在の市場心理は弱気に傾いているものと思われ、今後米企業の失望決算が増加する場合には、日米株式ともに底値を探る動きになることも想定される。但し、両株式の予想P E Rは2016年以降の最低水準まで低下しており、決算発表を織り込んだ後は見直し買いが入る可能性も。

～ 市場動向 ～

- 10月24日のNYダウは、大手ハイテク企業の2018年7～9月期の失望決算や、米中貿易摩擦等先行きの不透明感が嫌気され、前日比608.01ドル安（同-2.4%）の24,583.42ドルと、7月6日以来約3ヵ月半ぶりの安値で引けました。ハイテク株の比率の高いナスダック総合指数は同4.4%下落の7,108.40ポイントと、約半年ぶりの安値で引けました。1日の下落率としては、2011年8月18日（-5.2%）以来約7年2ヵ月ぶりの大きさとなりました。ナスダック総合指数の今年8月29日につけた史上最高値からの下落率は-12.3%と調整局面入り判断の一つの目安とされる10%を超えました（図表1）。
- 米株安を受け、25日の日経平均株価は前日比822.45円下落（-3.72%）の21,268.73円と、約7ヵ月ぶりの安値で引けました。尚、金利低下等を受け、東証REIT指数は小幅な下落率に留まりました（図表2）。

～ 今後の見通し ～

- 今後発表される米企業の決算内容が注目されます。市場は米中貿易摩擦の影響を懸念しているようです。これまでに決算発表を終えた企業の中には、貿易摩擦による原材料高や中国での販売不振で通年の業績見通しを下方修正する企業も出始めています。決算内容を見極めたいとの意向に加え、米国とサウジアラビアとの関係悪化懸念、イタリア予算案を巡る同国とEU（欧州連合）との対立等先行きの不透明感が強まっていること、また11月6日に米中間選挙を控えていることもあり、当面は新たな買いを見送る投資家が増える可能性もあります。現在の投資家心理は弱気に傾いており、良好な決算以上に失望決算に反応し、日米株式ともに底値を探る動きとなることも想定されます。
- 株価が予想EPS（1株当たり利益）の何倍まで買われているのかを示す予想PER（株価収益率）は、日米ともに2016年以降の最低水準まで低下しています（図表3）。決算発表一巡後、米中間選挙前後頃を境に、新たな政策期待や割安感を支援材料に、日米株式は再び上昇局面に戻るものと見ています。

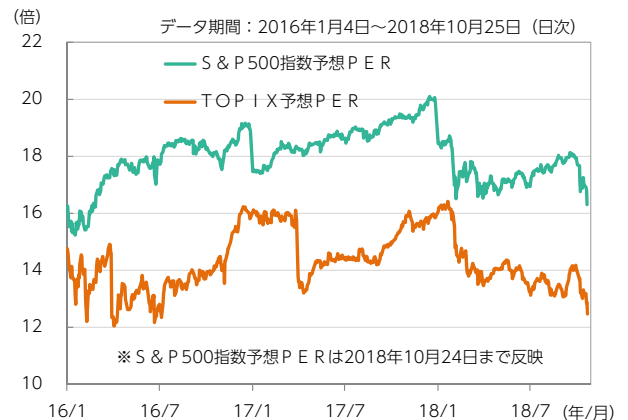
図表1：NYダウとナスダック総合指数



図表2：日経平均株価と東証REIT指数



図表3：日米株価の予想PER



【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>